

AMERICAN KID

REGAL 28 Express

アメリカの名門ボートビルダー「REGAL BOATS（リーガル）」にはエクスプレスクルーザーを中心とした20～42フィートのラインナップが揃う。

中でも今回紹介する「REGAL 28 Express」は定番の人気モデル。

今回は真夏の海に似合う「Bimini Blue」と呼ばれるREGALのコーポレートカラーをまとったモデルが日本に上陸した。

ややチョッピーな神戸沖の海域で34ノットを叩き出した。

text: Atsushi Nomura photo: Kai Yukawa

special thanks: REGAL JAPAN <https://regalboats.jp>





Bimini Blueと呼ばれるREGALのコーポレートカラーの美しい艇体が映える。チョッピーな水面でトップスピード34ノット。クイックなレスポンスで、旋回性能はかなり強烈。面白い走りを見せてくれる。

REGAL のコーポレートカラー Bimini Blue のハルがお洒落なアメリカンクルーザー 熟成を重ねアイデア満載の使い勝手の良さ、34 ノットオーバーの必要充分な走り

数多いアメリカのボートビルダーの中でも「REGAL BOATS (リーガル、Regal Marine Industries, Inc.)」は特殊な立ち位置を維持している。REGALは北米で特に人気のあるエクスプレスクルーザーを中心にラインナップしているが、こういったボートビルダーは、さまざまなコングロマリットに属し離合集散を続けてきたケースが多い。しかし REGALは1969年の創業以来、Kuckファミリーによる一貫した家族経営が特徴。独立系ボートビルダーの中では米国最大手とされるような規模となった現在も Kuck 一族が経営を続けている。その独自性は数々のアワード受賞にも表れており、業界を牽引する存在でもある。

現在のラインナップは「Bowrider」, 「Surf」, 「SAV」, 「Express Cruiser」,



「Yacht」の5つのカテゴリに分かれており、中でも「Bowrider」は「Sterndrive Bowrider」と「Outboard Bowrider」の2種類があり20～36フィートのレンジにそれぞれ7艇種合計14モデルが揃う。「Surf」はスタンドライブ仕様のウェイクサーフィン&トーイングスポーツ用モデルで3艇種、「SAV」はコンソールなどを右舷に集中させた斬新なスタイルのフィッシングモデルでアウトボードの33フィートと38フィートの2モデルをラインナップ、「Express Cruiser」は6モデル揃い「26」と「33」にはスタンドライブ仕様とアウトボード仕様の2種類がある。「Yacht」は36、38、42フィートの3サイズで全10艇種が揃う。近年はアウトボードに力を入れており、フラッグシップの42フィートモデルはライブブリッジタイプと

クーペタイプそれぞれにアウトボードモデルを用意している。全部合わせると20～42フィートのレンジに全35モデルという充実のラインナップである。

*

今回紹介するのは28フィートのエクスプレスクルーザー「REGAL 28 Express (リーガル 28 エクスプレス)」。2012年がデビューイヤーだから実に10年以上続いている定番中の定番モデルだ。もちろん REGALの常で、世界中のカスタマーからのフィードバックを受け年々微細な仕様を変更し続けて熟成度を増してきたモデルでもある。

全長8.76m、全幅2.59mとやや細身だが、これはアメリカ国内を特別な装備や資格なしに合法的にトレーラーで牽引可能な全幅の最大値となる。そのため船底からウィンドシールドまでの高さは2.70m、ドライブ最下部からタワー下部までも3.42mとやや高めだ。そしてその分、キャビン内のヘッドクリアランスはしっかりと確保されている。

デイクルーズはもちろん少人数での週末のマリーナステイにもしっかりと対応してくれる。

ハルカラーは "Bimini Blue (ビミニブルー)" と呼ばれる REGAL のコーポレートカラー。真夏の海に映えるカラーリングで、桟橋に係留された状態でも非常に目立つ。なお REGALのハルカラーバリエーションは実に豊富で、さまざまな組み合わせから選べるのも魅力の一つだ。

桟橋からスイングプラットフォームに乗り込む。左舷後部にはドアが設けられており、ここからコクピットへアクセス。深めのコクピットは左舷後部から中央へ向かってウォークスルーが斜めに繋がる。右舷後部には大型の



ベンチシートがあり、ここは「UltraLounge (ウルトララウンジ)」と呼ばれる。サンベッドにも可変で非常に広々したスペースが確保されており、下部にはストレージも内蔵されている。その前側対面にもシートがあり、中央にはテーブルを配置可能。左舷側にはシンク、クーラーボックスが備わり、素



コクピット左舷には長めのベンチシート、コクピット右舷前部がヘルムステーションだ。ステアリングホイールの他、各種ディスプレイ、スイッチ類をバランスよく配置。シフトレバーは艇体側面に取り付けられている。中央はキャビンへのコンパニオンウェイだ。



晴らしいラウンジスペースとなっている。

コクピット左舷には長めのベンチシート、右舷全部がヘルムステーションとなる。コンソールには大型で握り心地の良いステアリングホイール、各種航海計器類のディスプレイ、スイッチ類がバランスよく配置されている。またパウ斯拉スターのジョイスティックも左側に配置。シフトレバーは艇体の右側面に取り付けられている。このあたり細身の全幅ならではのアレ

ジと言えるだろう。ヘルムステーションの左手にはロアデッキへのアクセスタアが設けられているが、このドア自体に段が付けられており、フォアデッキへのアクセスステップになっている。ウィンドシールドの中央を開ければ広大なフォアデッキへアクセスできる。また今回の艇には可倒式のPower Tower (パワータワー)も装備、ボタン一つで倒すことができ、リバークルーズで橋をくぐる際などにメリットを発揮する。



右舷後部は「ウルトララウンジ」と呼ばれるエリア。サンベッドにも可変で非常に広々としたスペースが確保されている。エンジンルームは外開きで後部全体が上に開放される。ウルトララウンジの前にはテーブルも配置可能。左舷側にはシンク、クーラーボックスが備わる。



ロアフロアの前部にはU字型のソファを配置。テーブルをセットしたダイニングスペースとしてもベッドスペースとしても使用可能だ。舷側には大型のウィンドウがあり室内はとても明るい雰囲気包まれている。右舷にロアギャレー、ミジップキャビンにはクイーンサイズのベッドが備わっている。

キャビン内はステップを降りてすぐ左手に大型個室ヘッド、右手にロアギャレーを備える。前部にはU字型のソファがありベッドスペースとしても使用できる。また舷側に大型のウィンドウがあり採光性も高い。ミジップキャビンはクイーンサイズのベッドを備えている。28フィートクラスとしてはヘッドクリアランスが十分に確保されており、サイズ以上のボリューム感で、2～3名が余裕で室内に宿泊できる。

*

シートライアルは神戸沖の海域。当日はやや風があり水面もチョッピーな状態だった。早速、直線で最高速まで加速させる。この日のトップス

ピードは34ノットをマーク。もう少しコンディションが良ければ35ノットまでは伸びるかもしれない。フラップを微調整しバランスを取る。次第にこのボートの走りに慣れ、面白くなってくる。スターンドライブ艇特有のクイックなレスポンスで、旋回性能はかなり強烈だ。ややバンクがきつくなるため、風や波の向きには注意が必要だろう。30ノットでの高速スラロームには向かないが、コツさえつかめば面白い走りを見せてくれる。

他にはないお洒落なデイクルーザーであり、マリーナステイも楽しめる一艇「REGAL 28 Express」。10年の長きにわたってREGALのラインナップに存在する人気モデルだけあって、その完成度は高い。 **P.B.**



REGAL 28 Express

全長	8.76 m
全幅	2.59 m
喫水	0.86 m
重量	3.49 ton
エンジン	MERCURY MerCruiser 6.2L 300 BIII CAT DTS
最高出力	300 HP
燃料タンク	276 L
清水タンク	68 L
問い合わせ先	リーガルジャパン TEL: 079-322-8800
	https://regalboats.jp



YouTube